

■25年度予算編成の基本方針原案、医療・介護でさらなる賃上げ支援へ

- ・政府の経済財政諮問会議は11月26日、2025年度予算編成の基本方針の原案について議論した。医療・介護などの現場でロボットやICT機器の活用を通じた生産性向上や勤務環境の改善を行い、さらなる賃上げを支援することを原案に盛り込んだ。また、日常生活に不可欠な医療サービスなどの維持の向上や、全世代型社会保障の構築を行っていく方向性も示した。
- ・原案によると、25年度の政府予算は24年度補正予算と一体として、骨太方針2024などに沿って編成する。その際、新たなステージとなる「賃上げと投資がけん引する成長型経済」に移行することを目指し、少子化・こども政策の着実な実施など重要政策課題に必要な予算措置を行うことにより、「メリハリの効いた予算編成を行う」とした。
- ・この日の諮問会議では福岡資麿厚生労働相が、医療・介護・障害福祉分野で働く人の賃上げなどに引き続き取り組み、地域住民が安心して医療・介護サービスを受けられる基盤を守っていくとの考えを示した。
- ・民間議員からは「予算編成の基本方針として賃上げが重要だ」との指摘や、「全世代型社会保障の構築に向けて社会保障全体の給付と負担の見通しを示し、税と社会保障の一体改革に速やかに着手すべきだ」という意見があった。

※詳細は下記からご確認ください。

○令和6年第14回経済財政諮問会議（令和6年11月26日）

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2024/1126/agenda.html>